

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を！

ハロー フレンズ



2022年 1月号 (年3回発行) 第158号

「明けましておめでとうございます」

寒風が吹きぬける桜並木で、小さな蕾をたくさん見つけました。お元気でいらっしゃいますか。いつもふじみの国際交流センターの活動にご理解とご支援をいただいていることを深く感謝しております。

2022年、カラフルに改装された新しい部屋でスタッフ一同すがすがしく楽しく力を合わせて活動させていただいています。

FICECの事業年度は10月ですので、既に3ヶ月前から新年度の事業が始まっています。

働く外国人のためのガイドブックを作っている人。

ろう者の外国人のための日本語指導に工夫を凝らしている人。

地域の皆様からの物品支援も加わって、フードバンク事業は途切れることなくますます充実しています。遠方に暮らす生活困窮者のためには宅配便を活用して、お米や食料を送っています。

コロナが少し収まりつつあるので、バザーや交流の機会も増えそうです。

「どの子ども一人も取り残さない」と、子どもクラブは土曜日を中心に連日学習支援をしています。外国人の子ども達が褒めて貰える機会を作りたいと、コンクールに向けて絵画の募集が始まりました。

日本語教室は、指導員が充実し月・木ともに学習者の対応に応じています。1月は書道の先生を迎え、書き初めの計画もあります。ひらがな練習帳も増刷しました。

又、スタッフ全員が生活相談に対応できるように入管の職員さんに来ていただいて学習会を開いたり、ZOOMを活用して、様々な講習会を視聴しています。

多言語での情報は新編集長を中心に、在留外国人に寄り添った楽しく明るい情報を伝えたいと考えています。

また、10年先を見据えた多文化共生の担い手育成を考慮に、若い人が参加しやすいように、土・日の午後のオープンを企画しています。

リーフレットを兼ねたダイジェスト版の新しい事業報告書も作りました。

スタッフの日給1000円という悩みを除いては、皆がFICECの社会的役割を認識していて、頑張りたいと言ってくれます。2022年もまじめに本気で活動を続けられると思います。

来年こそは「コロナが明けて、おめでとうございます」とご挨拶が出来ますように。

皆様お体に十分お気を付け下さい。今年もどうぞよろしく御願いたします。



〈2020年度総会が開かれました〉

11月13日土曜日に、FICECの向かいにある東京国際学園研修センターの一室をお借りして2020年度総会が開かれました。2年続けてのコロナの影響下での総会でしたが、各事業の担当者の報告はこの一年間も色々な事を行ってきたことを思い出させてくれました。今年度も既に多くの新しい試みや事業がスタートしていますので、これからもハローフレンズ上で経過を皆様に報告したいと思います。

総会が終了した後で、総会に来られた会員の方に新しくなったFICECの事務所を見学してもらいました。



沼田理事による開会挨拶



世界各国から来た小さな選手達のための「絵コンテスト」

—ふじみ野市・富士見市・三芳町の外国ルーツの子どものための「絵コンテスト」—

2021年東京オリンピックで沢山の選手たちがメダルを首にかけ、涙を流す姿をテレビで観ながら私も一緒に泣いてしまいました。

「よく頑張った！長い間大変だったね！」

オリンピック代表になった彼ら・彼女らはきっと毎日続く練習とプレッシャーで何度も全て投げ出したくなった時もあったはずです。それでも頑張っただけで表彰台にあがることで今までの苦勞が報われ、彼ら・彼女らにとっては永遠に忘れられない誇りになるのだと思います。

オリンピック選手だけではなく、私たちの周りには世界から集まって日本で暮らしている小

さな選手達が沢山います。日本で働いている親と一緒に住みたい一心で、その小さな選手達は日本という未知の国に飛び込み、言葉もわからなくて理解できない授業を毎日何時間も聞いています。母国では優秀だった子どもも日本の教室では最初は何も出来ないし、友達もなかなか出来ません。

今までFICECでは世界中のいろんな国から来た沢山の子どもたちが毎週通いながら大きく育って行きました。学校でいじめられていた子どももいたはずですが、途中で勉強を投げ出したくなった子どももいたはずですが、それでも諦めずに続けて、自分の夢に向かって進んでいく姿をみると、全員にメダルをあげたいくなります。

2022年にFICECでは初めて「絵コンテスト」を開催することになりました。

FICECの「国際子どもクラブ」の子どもと2市1町に在住する外国ルーツの子どもが対象です。いのちつなぐ財団からの助成金とスタッフからの寄付で行われる予定の今大会では、2市1町での展示会と作品集も発行する予定です。

小さなコンテストですが、なかなか日本で賞をもらう機会のない彼らが日本で育ち、社会に出ていく間で彼ら・彼女らにとって一つの誇りになれることを願っています。

授賞式は今年度のFICECの総会で行われる予定です。

私たちの町で暮らしている、世界各国から来た小さな選手達にも温かい拍手をお願いします。



「国際子どもクラブ」ってどんなところ？

土曜日の朝9時になると元気な小学生が次々と勉強に来ます。宿題を早々家で終わらせた子達は、クラブで用意したプリントをせっせと解いていきます。一番の楽しみは仲間と遊ぶことですが今は出来ないのが残念。10時になると、中高生が課題を持って来ます。教科学習は、ボランティアで手分けして得意な科目を教えています。元気な生徒達に負けない、意欲あふれるボランティアさんに支えられて、毎回楽しく国際子どもクラブを実施できて幸せです。

(国際子どもクラブ責任者 山畑博子)

子どもクラブで活動されている方たちへのアンケート

- ①子どもクラブで活動されている期間
- ②子どもクラブで活動されることになったきっかけ、または動機など
- ③子どもクラブで活動されての感想、または印象深い出来事など
- ④これからの子どもクラブへのご意見や希望など

(菊池) ①4年②子育ても終わって何か仕事以外に役立ちたかったので③日本語も話せない子どもがいつの間にか笑顔で会話ができるようになってい事が、当たり前ですがとても嬉しいです。

(栗嶋美千代) ①10年くらい②子どもクラブで活動していた友人に誘われて③教科を教えるだけでなく、子どもたちのバックグラウンドを知ること大切だなあと感じます④準備して下さる先生に感謝しながら活動しています。これからも微力ですが続けていきたいと思っています。学校や、家庭との連携を更にとれるようになるとういと思っています。

(小林洋輔) ①1年位かと思っています②日本語を教える機会を探しているときに知りました③遣り甲斐を感じています。献身的なボランティアの方が多くことに敬服しています。④特にございません。いつもありがとうございます。

(吉野 恵) ①2019年から2年間②以前、息子がFICECのインターンシップでお世話になり、気になっていました。知り合いから声をかけてもらった。③子どもたちの笑顔や成長に力をもらえます。子どもクラブは、子どもたちの学校以外の学習や、人との触れ合いの機会として大切な場所だと思います。④スタッフの皆さんのご苦労、大変だと思います。ありがとうございます。私も出来る範囲でしかできていませんがこれからもよろしくお願ひします。



(吉松楓乃) ①今回初めて②通勤途中で見かけたこと③スタッフの方々も子どもたちも温かく迎えてくれたと感じます。

(戸塚咸子) ①2002年から19年間②外国の子と知り合ってしまった③国に帰り、元気に活躍していることを知ったとき。子どもが大人になり子どもを産み、母親になったのを知ったとき。④ボランティアが交流し、もっと子どもたちのことを共有していけるといいかなあ。

(笹森史豊) ①2021年10月～②テレビを見て。元々、塾講師のアルバイトをやっていて、経験を活かせるかなと思ったから。③ものすごくやりがいがあります

(坂本百合子) ①一か月②母の知り合い(安さん)の紹介③教室が混沌としていてにぎやか。最初は静かだった子が話してくれるようになった。

(栗原陽子) ①4か月くらい②市役所でパンフレットを見たりして③楽しいです④もっと来たいです

(進洗子) ①8年目②子どもが好きで、役にたきたい、と思って③自分が子どもたちに楽しい時間を貰っている、と感じています④コロナ禍で途絶えていたボランティア同士の交流ができるようになればなあと思います。

(山田実穂) ①今年の4月から②大学の講演で理事長の方のお話を聞いたため③日本語を教えることはやはり難しいと感じた。その一方で、少しでも前より話してもらえると非常にうれしいと感じる。



〈スタッフ紹介番外編〉

すてきな隣人

困っているひとの助けになりたい 玉置 テレサ

3年ほど前から仕事の量を減らして時間が出来た時に、何かしたいと思っていたところ、たまたまスタッフのジュリエッタと会い、FICECで英語とタガログ語と日本語のできるフィリピン人を探していると聞いたので、困っている人の助けになればと思いFICECのお手伝いするようになりました。

以前から理事長の石井さんにスタッフにならないかと誘われてもいましたし、スタッフのジュリエッタやエミリンも知っているし、友人の頼みで通訳のために何回か来たこともあるので、FICECがどういうところかよく知っていました。

お手伝いとして最初は何をやっているのかわか

りませんでした。だんだん慣れてきて通訳をするのはもちろん、スタッフとおしゃべりして情報交換したり、知り合いもたくさん増えていたりしています。その中で相談に来たフィリピン人女性に仕事を紹介したり、たまに電話したり、ワクチン接種につきそったりしています。

将来の夢は英語の塾を開くことで、そのために70歳までは老人ホームの仕事を続けたいと思っています。仕事から戻って夜7時から9時まではホットラインでフィリピン人からの相談にのりたいと思っています。



okuni no oyatsu

第5回

中国の手作りおやつ

呉さんの「桃花酥」トウファスー

サクサクした皮の中国のお菓子です。夫や子ども、幼稚園のママ友にも喜んでもらえます。

◎材料／表の皮＝油皮 豚ラード…40g、薄力粉…70g、中力粉…40g、砂糖…20g(甘いのが好きなら30g)、ぬるま湯…40g、中の皮＝油酥 薄力粉…100g、ラード…50g、

あんこ(粒ありでもなしでも可)、卵、白ごま…適宜

- ①.油皮の材料を滑らかになるまでよく混ぜたら、ラップして寝かせる。
- ②.その間に油酥の材料を、最初は箸でその後手で混ぜる。ラードで手がネバネバしてきたら冷蔵庫に入れて、固くなったならまた混ぜるとよい。
- ③.①と②をそれぞれ20個ずつ丸める。乾燥しないようにラップをかける。
- ④.あんこも20個に分けて丸めてラップしておく。
- ⑤.①を平たくしてその上に②を載せて包み、ひっくり返して立てて15分ほど寝かせる。その後、包んだ方を上にして潰し、麺棒で楕円形に伸ばす。
- ⑥.端から丸めて重なったところを下にして15分ほど寝かせる。寝かせないと皮が固くなり割れるので注意。
- ⑦.もう一度重なったところを上にして麺棒で楕円形



に伸ばす。端から丸めて15分寝かせる。

- ⑧.立たせて両端を折り曲げて潰し、麺棒で伸ばす。
- ⑨.あんこをのせて皮が破れないように気をつけて包み、裏返して15分寝かせる。
- ⑩.丸く広げて包丁で真ん中を切らないように8等分切れ目を入れる。
- ⑪.切った1辺を上からねじり花のような形にする。
- ⑫.オーブン170度で10分予熱する。その間に卵を混ぜて刷毛で表面に塗る。
- ⑬.真ん中に白ごまを少し載せる。
- ⑭.170度で18分焼く。

Café FICECの

Only English Cafe



日 時 2022年1月29日 午後2時~4時

場 所 ふじみの国際交流センター

参加費 200円(お茶代)

申し込み tel:049-256-4290

小人数グループでフリートーキングします。

日本語は使わず、英語だけの交流会です。

英語が下手な方も上手な方も大歓迎です。

コロナ感染対策に充分気を付けます。

コロナにより人数制限があります。早めに申し込みしてください。



見送りの3振より空振りの3振 パートⅡ

石井ナナエ

〇月〇日

開設25年目を迎えたFICECに、日本テレビ「ヒロミ&ジェシーの八王子リフォーム」から、「築50年の教室を全額無料で大改造」と嬉しいニュースが舞い込んだのが6月末のこと。FICECを取材して下さった毎日新聞の記事が、テレビ番組制作会社のスタッフの目にとまったらしい。

2ヶ月の工事を終え、8月20日以来、リニューアルした事務所で毎日活動している。

事務コーナー・生活相談室・学習コーナー・キッチン・フードバンクコーナーとカラフルに色分けされ、それが互いに調和し、他のどこも邪魔していない。「これが本当の多文化共生なのだ」とヒロミさんに教えられている気がする。

放映4ヶ月を過ぎた今も見学者が後を絶たず、行き交う人毎に、「テレビを見ました。良かったですね」と声をかけられる。『こんなに大勢の人達が一緒に喜んでくれていたのだ』と驚き、感謝している。

〇月〇日

「みんなでつくる 多文化共生のまち」を提唱し

1991年から日本語の学習支援、外国籍住民相談、交流の場の提供を行っている岐阜県可児市に視察研修に行ってきた。可児市は、文科省から虹の架け橋事業を委託された12年前から憧れていた所で、多文化ソーシャルワーク実践講座の講師を依頼されたのをきっかけにやっと夢が実現した。

岐阜県と可児市学校教育課の仕事として、多文化共生センター職員が中心となり、就学前の外国ルーツの子どもの保育から始まって、不就学・不登校・自宅待機の義務教育年齢の子どもの日本語指導と教科学習、高校進学支援まで継続して事業が行われている。日本で育ち、日本の社会に巣立っていく外国ルーツの子どもたちが、地元愛を持って日本に住み続けて行くためのサポートをされていて、保護者は大切な納税者になっているという。外国ルーツの子どもの未来を支えることが、地域の発展につながっている様子がよくわかる。

『日本中がこんな風になれば良い』とFICECの指針を見つけた気がした。

外国人ろう者への日本語指導

矢澤美紀

9月にNPO法人UPTAIN理事長の高波美鈴さんからFICECにメッセージが届きました。

内容は、インドネシア出身のろうの女性が、学校からのお知らせ等の日本語が読めずに困っているのです。日本語の読み書きを教えてもらえないか、というものでした。

その後、高波さんのところには他の国々(ベトナム、ペルー、イラン、カナダ等)のろう者の方から同様の連絡が届いたそうです。日本に外国人ろう者の方達がいるということに驚いたとともに、その方達への日本語指導を日本語教室に頼るのは難しいということも想像できます。

私は3年前に手話奉仕員養成講習会を受講し、手話の入門・基礎を学びました。(その時の先生が偶然にも高波さんでした)その後は、富士見手話サークルで勉強を続けていますが、手話のレベルは簡単な日常会話ができる程度で、難しい話は出来ません。ろう者の方にどのような方法で日本語を指導したらいいのか、明確な方法も思いつかないまま、とにかく勉強を始めてみることにしました。

初回は、インドネシアとベトナムのろう者の方が来所しました。幸いなことに二人とも日本手話ができるようで、日本手話と指文字を使ってひらがなを教えました。学習者と私のコミュニケーションがうまくいかないときは、筆談で高波さんに伝え、手話で通訳してもらいました。

※音声言語と同じく、手話は世界共通の言語ではありません。国によって手話の表現が異なります。また日本国内で使われている手話にも日本手話・日本語対応手話・混成手話があり、それぞれの表現方法が異なりますが、ここでは「日本で使われている手話」という意味で日本手話という言葉を使います。

2回目は、「保育園の連絡帳」の読み書きを勉強しました。事前に連絡帳の写真を送ってもらっていたので、それをもとに教材を作成しました。

3回目は、ペルーとイランのろう者の方も見学に来ました。

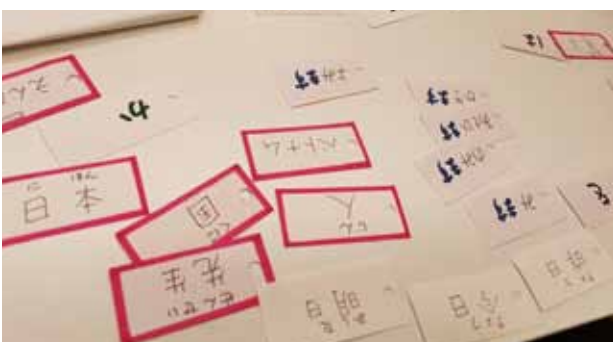


保育園の連絡帳を参考にして作った教材

zoomを使っての在宅での学習も計画してみましたが、うまくいきませんでした。今後もいろいろな方法を試してみようと思っています。

12月15日には、明晴学園(手話と日本語のバイリンガルろう教育を行っているろう学校)へ高波さんと一緒に見学に行きました。成人の外国人ろう者への指導を既に行っている先生から、日本語指導の方法や教材について等、様々な助言をいただきました。外国人への日本語指導は、聴者もろう者も基本的には同じ教え方で出来るということ、ろう者特有の誤用やそれを防ぐための教え方などの話も伺い、多くのことを学ばせていただきました。

今FICECに来ている学習者以外にも、日本語を学びたいというろう者の方からの話も聞いています。今後は外国人ろう者の方への日本語指導(+手話)ができる仲間を増やす必要があるし、自宅でも勉強が続けられるような教材を作成したいと思います。



最近の
face
book
から

フードバンクのための食品や電子辞書など沢山の寄付をいただいています。FICECを訪れる外国人にとっても喜ばれています。ご寄付いただいた皆さんを紹介できませんが、どうもありがとうございます。



ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!



在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサ

ポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただき、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。ご理解ご支援をお待ちしています。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004
埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5
電話 049-256-4290
または 049-269-6450

FAX 049-256-4291
ふじみの国際交流センター
マンスリーサポート係
②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定

の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としとして対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)または、現金書留でお願いいたします。

広告

“イメージをカタチに！ みんなで!!”

ARCHITECTURE PERFECTION
B-PROJECT

株式会社B-PROJECT
tel **049-293-4738**

東京・埼玉で店舗設計・内装デザイン工事を行っています
〒356-0038 埼玉県ふじみ野市駒林元町3丁目2-6 株式会社B-PROJECT



○お店の広告を出しませんか？詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

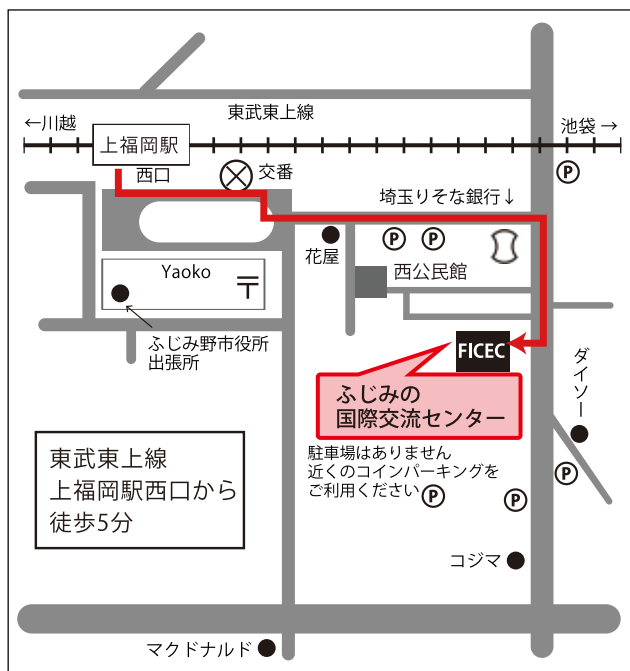
郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介します。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2020年12月1日～2021年12月23日(敬称略)

穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、新井良司、荒田光男、安銀柱、石橋勝、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、上島直美、牛込亜紀子、内部利明、宇野理子、Elizabeth、王、尾浦邦彦、大井学舎、小熊千寿子、大室昭浩、柏木ひろみ、片倉ミン、加藤由里子、狩野照乃、神田歩、神田順子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、樟山直美、久野弓枝、倉田喜美代、栗嶋三千代、小池、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、駒形一夫、酒井有香、坂入智子、坂口久身江、佐藤茂、佐藤ナンタワン、塩野圭子、塩野悟、嶋田薫、島田道子、ジャパンミート1%還元、江科、進光子、菅沼千代子、芹澤英樹、ゾシズン、高田真央、高橋千鶴子、高橋真梨子、高橋睦代、橋賢、立麻医院・稲荷山典子、立麻肇子、田中功、田村しの、田村工務店、チン・テイ・ヴァン、坪田幹男、戸塚咸子、富田恵子、洞山恵理、内藤忍、仲野谷美恵、中山のり子、西澤、野澤弘子、野元弘幸、萩原教生、長谷川正江、東入間地区遊技業防犯協力会、久光陽太、藤巻則幸、保坂佐紀恵、星野秋梅、松戸理江、松本好正、三橋博之、むつみ会、村山光代、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、矢澤美紀、山下順子、山畑博子、吉井ジュリエッタ、吉沢悦子

〈マンスリーサポーター〉

石井幸夫、石井ナナエ、遠藤慧子、太田政男、勝沼深、窪田和揮、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、清家泰子、中嶋恵津子、中田好江、仲野公堅、中山浩子、野田恭三、野辺頼之、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日